

2022年3月29日発行

22-13号

（http://www.jremnant.com/）

現場から（最近のニュースから）

**心理的安全性をつくる**

コロナによって働き方も変わり、人と人との付き合い方も変わってきています。人が集まるところ、リーダーができますが、いま変化している時代に、昔のままのリーダー像では、人はついて来ないでしょう。いまの時代のリーダーに必要な能力はなんでしょうか。起業家・経営学者である斉藤徹氏が、解説している記事がありました。

ビジネスの世界で重要視されているのは、場の「心理的安全性」をつくる能力だということです。「心理的安全性(Psychological Safety)」というキーワードは、1999年に経営学者エイミー・エドモンドソンの論文で発表されたものだそうですが、年々、研究が進んでいるということで、心理的安全性による効果が確立された研究例は多いということです。場の心理的安全性に最も大きな影響力を持つのは、その場におけるリーダーです。しかし、実際には、悪影響を及ぼしていることが多いということです。リーダーとなるのは、優秀な人が多いのですが、それゆえ、他の人への厳しい要求、自分でコントロールしたい思い、自分の仲間を作りたい思い、悪いことがあると犯人を探して再発を防止したいと思う傾向があるそうです。しかし、それは人々を緊張させ、場の心理的安全性を損ねるので、良い結果は生まれないそうです。

どんなリーダーが心理的安全性を作るかというと、話ができる親しみやすさ、自分の知識の限界を認め、自分も間違うと認めること、相手が参加するように促すこと、失敗は学習する機会だと強調して、具体的なことばで語り、相手が行動しやすいように境界（規範）を設ける人だということです。リーダーは強くあるべきだという時代は過ぎて、自分の悩みや弱みを含めて「素の自分を見せる勇気」がある人が必要だということです。そうでないと、「強がる仮面」をつけて、評価を落としてはならないという恐れを持つので、安心感がなくなるということです。心理的安全性がないと、結局は、チームの総合力が奪われてしまうということです。（3月28日現代ビジネス＜リーダーは強くなくていい…チームの「心理的安全性」をつくる「7つの行動」＞より）

出会う人の心を安心させて、相手がその人らしさを発揮するのは、職場だけではなく、家庭や地域でも、人間関係の中で必要です。それは分かっていても、良いニュースより、悪いニュースを耳にすることが多い現在、緊張と恐怖を知らずに抱いて生活しているので、それを刺激するような緊張を感じる環境になることが多いでしょう。ただ、親しみをもって話ができ、自分の限界を認め、自分の弱さもさらけだしたら、人が安心するのではありません。強さがなければ、頼りないと言われ、リーダー失格だと言われることもあるでしょう。人を安心させる前に、まず、自分自身が自分をありのまま受け入れることができる心の器が必要であり、それこそが、本当の強さでしょう。しかし、自分で自分の器を変えたり、大きくすることは、難しいです。まったく自分が新しくなり、自分を異なる観点で見て、異なる力を受けて生きて行くことができるなら、器も変わり、その器を大きくすることもできます。どうしたら良いのでしょうか。ごいっしょに、そのことについて見てみませんか。

救いの道

だれでも幸せになって、うまくいきたいのに、なぜ人生がこんなにも苦しくてつらいのでしょうか。

予期せぬ事故にあい、やることなすこと、すべてうまくいかず、会社ではやりがいどころか、仕事と人に疲れるばかりです。学校は、もはやいじめの天国になりつつあります。家庭内は冷たい風が吹き、一つ屋根の下でばらばらになり、実際に崩壊しているところも少なくありません。そのうち体は病気になり、心も病んでしまい、眠れない夜が続きます。お酒や薬に頼り、ギャンブルや快楽に走ってみても答えはありません。わらにもすがる思いで占いをして、おふだやお守りをつけてみますが、解けそうにもなく、どんどんひどくなるだけです。

ときには、表では他人がうらやむほどの成功をおさめたのに、裏は穴が開いてもれていくし、隠れた問題でなげき、ため息をつきながら人生のむなしさを感じています。胸にはぽっかりと穴が開いて、埋められません。とても憂うつになって、時々、自殺の衝動にかられます。幻聴や幻覚に悩まされるときもあります。

なぜこうなったのでしょうか。

それは、人が神様を離れているからです。魚が水を離れ、木は土から根を放り出すと枯れて苦しみ死んでいきます。人は神様に会って神様とともにいるべきたましいを持つ存在です(創世記1:27)。ですから、神様と出会う時、すべての問題が解決され、新しい人生が始まります。しかし、人は罪を犯して神様を離れてしまい、二度と神様に会うことができなくなりました。そのときから、目には見えない暗やみの力が、人を運命の力に閉じ込めて、苦しめて滅ぼしているのです。それで、どんなに暴れても抜け出すことができません。どんどん疲れはてて倒れるだけなのです。

神様は苦しみの中にいる人を愛し、この運命の泥沼から抜け出して、神様に出会うことができる道を開いてくださいました。その道がイエス･キリストです。イエス･キリストが罪人の私たちの身代わりとなって、十字架を背負い、すべての罪を赦してくださり(ローマ5:8)、私たちを苦しめていた暗やみと呪いの勢力を完全に打ち砕いて勝利なさいました(Ⅰヨハネ3:8)。そして言われます。「わたしは道であり真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれ一人として神に会うことはできません」(ヨハネ14:6)イエス･キリストは神様に会う道となりました。「疲れて重荷を負っている人はわたしのところへ来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」(マタイ11:28)と私たちを招いておられます。

もうこれ以上、苦しみの人生にとどまっている理由はありません。道であるイエス･キリストを信じることで、神様に会うことができます。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきに会うことがなく、死からいのちに移っているのです」「この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった」だれでもイエス･キリストを救い主として信じ、心に迎え入れれば救われます。下の「受け入れのお祈り」を通してイエス・キリストを心に迎えることができます。

「愛の神様、神様の驚くべき愛と、救いの計画を感謝します。今、私は罪人であることを

認めて、悔い改めます。私の心の扉を開いて、今、イエス・キリストを私の救い主、私の

神様として受け入れます。私の罪を赦してくださり、私を救ってくださったことを感謝

いたします。これからは、神様のみこころに従って生きる者にしてください。イエス・

キリストの御名によってお祈りします。アーメン」

相談のある方は、いつでも連絡ください